

【記載例】

農地等の利用状況報告書

令和 〇 年 △ 月 □ 日

(宛先) 紀の川市農業委員会会長

主たる事務所の所在地 紀の川市〇〇〇●●●番地
名称及び代表者氏名 株式会社 △△△△
代表取締役 ●●●●
連絡先（電話番号） 0736-〇〇-××××

下記のとおり農地法第6条の2第1項の規定に基づき報告します。

記

1 法人の概要

法人の名称及び代表者の氏名		株式会社 △△△△ 代表取締役 ●●●●		
主たる事務所の所在地		紀の川市〇〇〇●●●番地		
所有農地の有無		有 ・ 無		
経営面積計		田	畑	採草放牧地
20,000 m ²		10,000 m ²	10,000 m ²	m ²
内 訳	市町村名 (紀の川市) 18,000 m ²	10,000 m ²	8,000 m ²	m ²
	市町村名 (●●町) 2,000 m ²	0 m ²	2,000 m ²	m ²
	市町村名 () m ²	m ²	m ²	m ²
法人形態（当てはまるものに○）		株式会社・特例有限会社・農事組合法人・合名会社・合資会社・合同会社		

2 農産物の作付面積、収量

生産している農産物	作付面積（m ² ）	収量（kg）
水 稻	10,000 m ²	5,400 kg
桃	8,000 m ²	15,000 kg
トマト（施設）	2,000 m ²	6,000 kg

3 農地法施行規則第60条の2第1項第6号関係

(1) 取締役又は業務を執行する役員全ての状況

氏 名	住 所	役 職	農業への年間従事日数	
			直近実績	見込み
●● ●●	紀の川市○○○●●●番地	代表取締役	200日	230日
△△ ××	□□市▲▲▲○○○番地	取締役	250日	280日
●● ○○	紀の川市○○○●●●番地	理 事	80日	80日
法人の役員全員を記入		役員のうち、1名以上が法人の農業に常時従事 (原則年間150日以上)すること		

4 周辺地域との関係及び地域との役割分担

(1) 周辺地域との関係

耕作等の事業がその農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼしている影響

(集落営農や経営体への集積等の取組への支障、農薬の使用方法的の違いによる耕作又は養畜の事業への支障等について記載してください。)

- ・適切に耕作しています。
- ・地域の防除基準に従って農薬を散布しています。
- ・農地の適正管理に努め、周辺農地や近隣住民に影響を及ぼすことはしていません。

(2) 地域との役割分担の状況

地域の農業における他の農業者との役割分担について、具体的にどのような場面でどのような役割分担を担っているかを以下に記載してください。

(農業の維持発展に関する話し合い活動への参加、農道、水路、ため池等の共同利用施設の利用の遵守、獣害被害対策への協力等について記載してください。)

- ・地域の話し合いに参加し、近隣農業者と交流している。
- ・水路の清掃作業に参加協力している。

〔添付書類〕

- ① 定款の写し
- ② その他必要書類